

最終更新日： 2026年7月30日

授業科目名 (講義題目)	マネジメント演習Ⅰ-1 (日高美治氏寄附講義)		開講学期	後期
			曜日時限	水曜Ⅰ・Ⅱ限
			単位数	1
担当教員名	高田 仁	講義コード	科目区分	対象学生
		26176107	選択	1年生／2年生
開講予定日	後期に、先端技術分析と重ならない日程で、10/7(1限のみガイダンス)、10/21、11/4、11/18、12/2に開講する。			
履修条件	MBAベーシックの各教科を履修済みであることが望ましい	キーワード	中堅・中小企業経営実践 経営意思決定 中小企業の経営哲学とCSR	
全体の教育目標	中堅・中小企業経営の意思決定を招聘講師との議論を通じて学ぶ	個別の学習目標	意思決定に際する、解決すべき問題を認識し、選択肢を検討、どれが最適か具体性に基づき意思決定を行う	

授業の概要	<授業の概要> 本講義は、ケースメソッドを通じて中小企業のトップマネジメントの手法を学ぶことである。各講義において、講義テーマに沿って現在、第一線で活躍する実務者を講師として招聘する。なお、昨今の中小企業を取り巻く問題は中小企業に限定されない課題も存在するため、招聘講師は必要に応じて中小企業の経営者以外も招聘する予定である。 講義では、招聘講師との議論あるいは学生同士の議論やグループワークを通じて、経営意志決定の局面、その際の問題点、選択可能な対応策(選択肢)、選択肢毎の長所・短所を明確にして、どのような選択が最適なのかを検討する。また、選択の背景に存在する経営哲学について学ぶ。各講師による様々な意思決定を疑似体験することによって、実践的な問題解決・意思決定能力を高めること、そして学生が自分なりの経営哲学を考察し深めることを目指す。 なお、本講義はQBSの修了生である日高美治氏の寄附金を財源とし開講する。なお本講義ではグループディスカッションと発表を重視するため、全体受講者数を適正数に抑える必要があると判断される場合は履修制限を行うことがある。第1回ガイダンスの受講状況をみて決定する。		
授業の最新情報 案内方法	・九州大学Moodle ・QBSインフォメーションボード (website)		
授業形態	・講義・演習 ・グループワーク ・プレゼンテーション ・ディスカッション	使用する 教材等	・板書 ・テキスト(紙媒体) ・スライド資料(電子媒体) ・映像・音声資料
授業の進め方	1. 講義は、原則として2コマ連続で開講する。 2. 講義でのディスカッションの密度を高めるため、毎回事前課題を課す。 3. 講義では、招聘講師からのレクチャーおよび事前課題を基に、採用すべき「意思決定」を検討し発言を求める。それをベースに双方向型で講義を進める。 4. 講義資料の配布や課題提出は、原則として九州大学のweb学習システム(Moodle)を利用する。		
教科書及び 参考図書	特に定めないが、必要に応じて事前課題で個別に指示する。		
試験・成績 評価の方法等	①講義貢献 40%(議論への参加と講義への貢献をカウントする) ②講義課題 60%(毎回開講前に事前レポートA4×2枚程度の提出を求め、評価に加える)		